

第190回通常国会開会

新年あけましておめでとうございます。皆様方には健やかな年明けを迎えられたこととお慶び申し上げます。

年明けの日本列島は穏やかな天候に恵まれ、初春を思わせる陽気となりました。毎年恒例の箱根大学駅伝も上昇する気温との戦いともなりましたが、昨年初優勝を飾った青山学院大学が39年ぶりとなる完全優勝で見事2連覇を果たしました。青山学院の安定した走りに多数のチームが襷を繋ぐことが出来ず、繰り上げスタートの屈辱を味わうこととなりましたが、この悔しさをバネに次への飛躍につなげてくれるものと期待しています。

さて仕事始めとなった4日、第190回通常国会が召集され、13時から天皇陛下をお迎えして開会式が行われました。その後、衆参それぞれの本会議において、安倍総理の外交報告と麻生財務大臣の財政演説が行われました。

安倍総理は、昨年9月の国連総会への出席から12月のインド訪問に至るまでの一連の海外出張に関して、その内容や成果を報告しました。この中で、昨年末の従軍慰安婦問題に関する日韓合意については「これをもって日韓関係が未来志向の新時代に入ることを確信している」と述べ、インドと原則合意した原子力協定に関しては「インドを国際的な不拡散体制に実質的に参加させることにつながる」と訴えました。また、今年はG7伊勢志摩サミットの議長国、国連安保理の非常任理事国入りなど、日本外交が世界を引っ張る年になるとして、世界と緊密に協力してリーダーシップを発揮していくと、強い決意を示しました。

麻生大臣は国内経済について、これまでの安倍内閣の取り組みによりデフレ不況から脱出しつつあり、今こそ、少子高齢化という構造的課題に取り組まなければならないとし、「希望出生率1.8」「介護離職ゼロ」に直結する政策に重点的に取り組むと同時に、経済の下振れリスクにも対応しつつ、強い経済の実現に向けた歩みを確固たるものにしていくために、重要課題である「1億総活躍社会の実現」に向けて緊急対策を取りまとめたものであり、平成27年度補正予算の早期成立に理解を求めました。

なお、開会式に先立って常任委員長を選出並びに特別委員会の設置等が手続きが行われ、私は厚生労働委員会の委員に指名されました。久しぶりに本拠地での仕事となります。医療や介護の充実等、高齢者や社会的弱者が安心して暮らせる社会づくりを目指して、しっかりと責任を果たしていきたいと思っております。